一般社団法人 大学IRコンソーシアム
The Institutional Research Consortium of Japanese Universities

会員募集のご案内

ONE SURVEY, DUAL IMPACT

1つの学生調査で、2つの分析価値を。



調査・分析から教学マネジメント、そして戦略的IRへ。
1つの学生調査で、文部科学省「全国学生調査」への対応と、教育の質保証に向けたエビデンス収集を実現します。

55 大学	7 万人/年	67 問	0 円
会員大学数（2026年7月現在） 国立6・公立9・私立40	学生調査の回答規模 国内最大級のIRコミュニティ	学生調査の設問数 「全国学生調査」30問※を完全カバー	無料お試し体験 （数日～最長1ヶ月程度）

― 大学IRコンソーシアムが選ばれる3つの理由 ―

分析価値 1

文部科学省「全国学生調査」を完全にカバー

当コンソーシアムの学生調査（全67問）の結果を、「全国学生調査」にそのまま利用できます。1年に1回の調査で対応完了。

全国学生調査の設問（30問※）
- 授業での経験
- 知識・能力の変化
- 1週間の時間の使い方
- 学びの振り返り
- インターンシップ・留学の経験

＋独自設問（37問）
- 大学教育・環境の満足度
- 大学設備・学修支援の満足度
- 学生生活の充実度
- コンピテンシーに関する能力の変化

文部科学省へのデータ提出フロー

1. 抽出｜IRiSから全国学生調査30問をDL
2. 加工｜学部・学科などの情報を追加
3. 提出｜指定形式で提出

✓セキュア　学籍番号は暗号化し、提出前に完全削除

分析価値 2

会員大学データによるベンチマーク分析

自学単独の調査ではわからない「他大学と比べた自学の立ち位置」を、IRシステム“IRiS”で客観的に把握できます。

大学間比較
会員大学同士で自学の立ち位置を明確化

専門分野別比較
分野ごとの比較で教育の特色を可視化

学年別比較
全学年共通の調査で成長・変化が一目瞭然

規模別比較
同規模大学との比較で実現可能な改善目標を

「平均より上か／下か」が一目でわかる



※IRiSダッシュボードの表示イメージ

✓経年比較　過去5年分のデータを閲覧

✓クロス集計　学生データとマージし多角的に分析

✓年度内に閲覧　3月に結果を閲覧、次年度の改善へ

2012年から蓄積された全国規模の学生調査データ基盤

今後の分析価値

独自IRシステム“IRiS”サービスの拡充

会員大学の現場の声を取り入れて進化してきた“IRiS”が、AIを活用した分析・予測機能で大学経営の意思決定を支援します。

「全国学生調査」と“IRiS”の歩み

- 2024年度　“IRiS”大規模改修
- 2025年度　「全国学生調査」本格実施に合わせた新設問調査スタート
- 2026年度以降の予定　分析・予測機能の拡充を計画

NEW 統計手法による分析の高度化に加え、AIによる分析・予測機能の実装を計画中。次世代のIR分析基盤へ拡充を予定しています。

活用シーン

✓中期計画　KPI設定・自己点検の根拠に

✓認証評価　客観データで説明に説得力を

✓募集広報　データで語れる自学の強みを発信

何からはじめるべきか？
まずは裏面の「無料お試し体験」から

※属性に関する設問、自由記述を除く

https://irnw.jp/

教学IRから“大学マネジメントを支援する戦略的IR”へ。

55大学ベンチマーク×経年データ×今後のAI分析が、大学執行部や教職員の意思決定を支える「共通のエビデンス」になります。

STEP 1 学生調査の実施

01 自学の立ち位置をどう示すか

中期計画・認証評価を、客観データで裏づける

自己点検・評価や中期計画のKPI設定に、全国55大学との比較という客観的な根拠を。

STEP 2 “IRiS”で分析・比較

02 学生数をどう守るのか

学生の定着を、KPIとして管理する

学修行動・満足度・学修成果の弱みを早期に発見し、休退学の抑止（リテンションの向上）につなげます。

STEP 3 教学改善・質保証

03 何が課題で、何が強みなのか

データに基づく教学改善をサイクルさせる

3ポリシーに即したIR指標で内部質保証を実質化。データで語れる自学の強みを発信します。

GOAL 大学マネジメント上の意思決定支援

04 経営資源の配分にどう優先順位をつけるか

限られた資源を、効果が生まれる領域へ配分する

効果検証に有用な経年データが、施策の優先順位づけと事後評価に寄与します。

1つの学生調査が、教学の質保証を超えて、大学マネジメントのデータ基盤となる。

まずは「無料お試し体験」からスタート！

費用負担は一切なし。PCとネットワークのみで、すぐに体験できます。

完全無料
お試し期間中の費用負担は一切ありません。

柔軟な期間設定
数日～最長1ヶ月程度。学内の検討スケジュールに合わせて調整可能。

手厚い導入サポート
事前のオンライン説明会と事後の振り返りミーティングで支援。

学内決裁の資料に活用
本格導入に向けた資料作成に、システム画面等を制限なく利用可能。

機　能　項　目	お試し体験	正会員
閲覧機能（全機能）／過去5年分のデータ閲覧	✓	✓
データダウンロード機能／専門分野相互比較	✓	✓
大学間相互比較	–	✓
学生調査の実施／データ登録	–	✓

正会員 5つの体験価値

- IRシステムの使用
- 共通調査票の利用
- 大学間相互比較
- 講演会・セミナー
- 会員校との情報交換

※大学間相互比較は「お互いに閲覧可能」という利用条件を満たさないため、お試し体験では利用できません。
※1大学につき1申込みでお願いします 研究目的での利用はできません。

大学IRコンソーシアム 設立の目的

学生調査分析を軸とするIR機能の開発を基盤として、IRを通じた会員間での相互評価の結果を学士課程教育の質的向上に結びつける質保証システムの創出と全国規模のIRコミュニティの育成を目的としています。

5つの体験価値 オールイン 年会費30万円

新規会員募集
お試し無料体験募集

https://irnw.jp/

一般社団法人 大学IRコンソーシアム
The Institutional Research Consortium of Japanese Universities

一般社団法人 大学IRコンソーシアム 事務局
TEL：06-4397-4188　e-mail：irconso@irnw.jp
〒534-0024 大阪市都島区東野田町5丁目2番23号
京橋セントラルビル